

広島総合（研究）倫理審査委員会 承認番号No.24-41（オプトアウト）

2024年 9月 10日

J A 広島総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	がんゲノム検査を行った泌尿器悪性腫瘍患者の臨床的背景、変異プロファイルおよび治療後の転帰を観察するレジストリー試験
倫理委員会承認番号	No.24- 41
研究の対象	2019年 6 月～ 2029年 12 月の間に広島大学病院および共同研究機関でがん遺伝子パネル検査が施行された20歳以上の泌尿器疾患の患者さん
研究目的・方法	泌尿器がんを含むがん治療において、標準治療の最終ラインまで終了あるいは終了が見込まれる患者さんに対するがん遺伝子パネル検査を用いたがんゲノム医療が広く行われるようになり、これが提供される機会はますます増えてくることが予測されます。一方で対象となる患者さんの臨床的背景と検査結果およびその後の経過についての知見はまだ少なく、情報を蓄積しより良い治療体制の構築が望ましい状況です。本研究では、がん遺伝子パネル検査により提供される治療を受けた患者さんの長期経過を追跡し、治療効果に影響しうる臨床因子や治療選択にあたり有用な根拠を探索することを目的としています。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究では、診療により得られる情報（年齢、性別、病歴、病理組織学検査結果、エキスパートパネルの報告書、提供された治療後の経過）を集めます。追加検討項目として利用可能な残余の組織検体を用いることがあります。
外部への試料・情報の提供	本研究所が広島大学と共同で実施する研究に提供される情報です。各研究機関で収集された個人情報など個人を特定する情報を削り、代わりに研究用の番号をつけどなたの情報か分からないようにします。このように加工された情報を、広島大学が運用する電子的データ収集システムに登録します。システムは研究者等限られた者しかアクセスできません。収集された情報をもとに広島大学で解析します。試料についても研究用の番号を付与した状態で提供されます。
個人情報の取り扱い	試料・情報を使用・提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で使用・提供します。個人と連結させるための対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。
利益相反の有無	無（ ）
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 泌尿器科 研究責任者：加藤 昌生 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	